

のぞみ

公益社団法人
仙台青年会議所
2014年度 広報誌
Vol.401



株式会社ここみケア

〒980-0021

宮城県仙台市青葉区中央2丁目9番27号 プライムスクエア広瀬通14階

TEL 022-397-8783 (代表)

FAX 022-397-8736

公益社団法人仙台青年会議所
2014年度 広報誌

のぞみ

NOZOMI Vol.401 2014.12

CONTENTS 目次

03 理事長挨拶

公益社団法人仙台青年会議所
第63代 理事長

納庄 国英

04 LOM中長期ビジョン ～2021

06 委員会紹介

未来ビジョン会議／法令会計審査会議
七夕花火祭特別委員会／しあわせなまち創造委員会
子どもの共育実践委員会／会員開発委員会
例会委員会／渉外委員会／総務委員会／事務局

09 活動報告

11 編集後記



理事長挨拶

本年度も多くの市民の皆様からご支援とご協力を賜りましたことに、心より感謝と御礼を申し上げます。

2014年度の仙台JCは、「Image of Happiness SENDAI～青年として、感わず、憂えず、恐れず～」のスローガンを掲げて運動を展開して参りました。2011年3月に発生した東日本大震災で、大きな被害を受けた地域に住まう青年団体として、発災直後より全国・全世界からの支援のもと様々な活動を続けて参りましたが、あれから3年が経過した今も、未だに多くの被災者が不自由な生活を強いられており、失われた生活や地域を取り戻すためには、多くの課題が山積しております。そのような中で、私たちは、失われた生活や地域を取り戻すために困難を乗り越え、自らが考え行動し、震災以前よりもしあわせを実感できる地域社会を思い描くことが必要だと考え、様々な事業を実施して参りました。

本年度は、新たに震災から10年後の2021年に「しあわせを共感できる仙台」を実現するために「LOM中長期ビジョン」を策定いたしました。JCは地域を担うリーダーを育成するために、毎年役員や理事長が代わります。しかし、設立から63年も脈々と続く「明るい豊かな社会」を実現するという目的は何一つ変わることはありません。今回策定した「LOM中長期ビジョン」は、仙台の地域を「明るい豊かな社会」にするものであり、仙台JCはこのビジョンに基づいて2021年をゴールとした中長期的な運動を展開して参ります。

結びとなりますが、2015年度も仙台JCにこれまでと同様のご指導とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

公益社団法人仙台青年会議所 第63代 理事長
納庄 国英

指針である理事長所信の基に様々な運動を展開してまいります。その前提には定款に定められたLOMの目的があり、めざすべき「明るい豊かな社会」があります。今回策定したLOMビジョンは目的を達成するための大きな柱であり仙台JCの会員が共有し進むべき方向性です。

このLOMビジョンは、長期的視野の中で2021年に「しあわせを共感できる仙台の実現」をめざしています。また「社会・個人・国際」の分野で構成され、それぞれの具体的手法ではなくあるべき姿をあらわしています。そして、その性質は不変的ではなく、必要に応じて各分野の現状把握を行ないブラッシュアップすることで、より確立されたものになっていくと考えます。

仙台JCが、中長期的な視野を持つLOMビジョンを掲げることで、より大きな運動の展開を進められるものと考えます。そしてLOMビジョンが次年度以降の運動の方向性となり、「しあわせを共感できる仙台」の実現に向けての道標となることを祈っております。

公益社団法人 仙台青年会議所 2014年度 第63代理事長 納庄 国英

な世界平和

豊かな社会

或社会の発展

員の連携と指導力の啓発

際理解を深め国家及び
界の繁栄と平和への寄与

わせを
できる
の実現

国際

二会

Junior Chamber International Sendai

LOM VISION

LOM 中長期ビジョン～2021

国際 友情と感謝の心を持つことで
実現する国際力

国際力強化のための
相互理解の推進と国際交流

世界の人たちへ感謝の想いを
発信する機会の創出

国際化社会と叫ばれて久しい今日、私たちの住み暮らす仙台は多くの外国人との交流を持つことができる都市に成長してきました。しかしそれは、行政の取り組みやインフラの整備に依るところが多く、市民が積極的に関わることができる国際交流の機会が増加したとは言いきれません。私たちは民間外交の担い手としての役割を今まで以上に果たすため、国際力を持って運動を推進していく必要があります。

世界中の人々との信頼関係を築く民間外交を推進しながら、世界に誇れる日本文化を発信するために、メンバーに世界会議やASPACなどへの参加を促し、JCの特徴でもある国際の機会を多く創出します。そして、私たちは国際的視点で行動できる担い手を育て、次世代を担う若い世代が、共に学び、友情を育む機会を創造する必要があります。また、そのためにも必要とされる一つとして姉妹JC交流を増進し、友好的関係を今まで以上に構築し、経験から得られる会員の国際力強化がLOMにとっての大きな財産となっていくと考えられます。人間は一人ひとりが違う個性を持ち、かけがえのない存在であるからこそ、相手を受け入れる心を持つことが必要ではないでしょうか。世界の人たちと交流するということは、価値観や文化など様々な違いをより明確に感じることができる機会であり、その違いの中で、お互いの価値観を尊重し、相手を受け入れる心を持って接する事で、相互理解やお互いを思いやる気持ちが生み出されます。またその心から自己の確立や国や郷土の愛情にも繋がり、グローバルな視点や感覚が育まれると考えます。そのような人材を一人ひとり増やし広げていくことが明るい豊かな社会の創造に繋がると確信します。

東日本大震災を経験した私たちだからこそ、東北から感謝の気持ちを世界に発信し、市民とともに国際貢献に取り組み、世界の人々との相互理解を深めることで未来志向な信頼関係を構築していきます。そしてメンバー一人ひとりが友情と感謝の心を持つことで実現する国際力をもって、私たちは「しあわせを共感できる仙台」を実現します。

※国際力とは、ボーダレス化した地球社会において、JAYCEE が他に先んじて行動するために必要な力

各テーマにつけられた色の意味 **社会** 仙台というまちを表す杜の都をイメージする緑色

個人 仙台JCメンバーの肌の色を表す肌色 **国際** 世界中に広がる海や空をイメージした青色

しあわせを共感できる仙台の実現 日本人がしあわせから連想する色の中で比較的広く使われる黄色

はじめに

63年目を迎えた仙台J.Cは、高い志と行動力を持った先輩諸兄弟によって、まちづくりやひとづくりを通して様々な運動が展開され、今日まで歴史を積み重ねてきました。

2011年3月に東日本大震災で大きな被害を受けた私たちは、住み暮らすこの地域が1日でも早く復旧・復興するため、発災当初から青年として積極的な活動を続けてまいりました。そして、仙台J.Cは2011年に「IMAGE 2021'S SENDAI」という震災から10年後の未来へ向けて行動するためのフラッグを掲げました。私たちは2021年の仙台が、理想とするまちへと復興を成し遂げるため、そしてこの地に生まれ、この地で育つ子どもたちのため、単なる傍観者ではなく当事者意識をもって、全国、全世界からいただいた支援への感謝の気持ちを決して忘れることなく、希望に満ちた未来を思い描くことができる地域を取り戻す責任があります。そのような気概をこのフラッグに込めています。私たち一人ひとりが2021年のしあわせな未来を心に描き行動することが、明るい豊かな社会の実現へと導くことになるのです。

本年、仙台J.Cはこのフラッグに込められた想いの実現のために「LOM中長期ビジョン」の策定をいたしました。単年度制であるJ.Cは、その年の

個人

利他の精神で積極的に地域やひとのしあわせを考え、
能動的に行動できるJAYCEE

公の利益のために個を磨き、
先駆的に行動する JAYCEE

会員の連携と指導力啓発による
個人力と組織力強化

市民一人ひとりが自分たちの住み暮らす地域に愛着を持ち、誇りを感じることができるまちは市民意識の高いしあわせなまちです。私たちは、地域における青年経済人として、愛着を持てる地域や誇りを感じられることは何かを常に考え、そこに住む人のために能動的に行動を起こせる存在でなければなりません。

地域のリーダーとなるべく活動をする私たちは、自らが率先して行動することによって、市民に影響を及ぼし前向きな変化を与えることを求められています。公（おおよけ）とは、個人の立場を離れて全体に関わることです。私たちに必要とされるものは、個の利益よりも公の利益を優先することに価値を感じる感覚です。しかし、公に関わる時に大きな力を発揮するためには、日頃から魅力的な個（個人）になる努力を惜みず、常に自分の人間力を磨くことを忘れてはいけません。そして、JAYCEEとして、自分たちのまちのために確固たる意志を持って先駆的に取り組む力が必要です。さらに、会員の連携と指導力の啓発というLOMの目的を達成するために、事業や例会を通して質の高い会員の育成と強固な組織づくりに努めます。先行して個人力の向上を図り、そこからさらなる会員同士の連携を複合的に促すことで組織力の強化につなげます。

様々な魅力を持ったひとが集まる青年会議所は、会員相互の連携によってその力の相乗効果を発揮します。一人ひとりが個人の修練によって全体の力を向上させ、意識を高く持ち行動することで、私たちは「しあわせを共感できる仙台」を実現します。

社会

感謝と思いやりの心に溢れ
安心とゆとりに包まれたまち

人と地域の連携による
まちづくり推進

道徳教育を通じた
次世代教育

今日の社会は、個々の権利と主体性を重んじる個人主義の本質を見失い、利己主義的かつ無関心が蔓延する社会となりました。震災を契機に、自己のためだけではなく、損得も含めて相手の立場を尊重し、お互いが心を通じ合わせ、相手を敬うという、本来日本人が有していた尊い精神性が再確認されました。

仙台というまちを構成するのは、そこに住み暮らす市民です。私たちがめざす仙台とは、市民が互いに感謝と思いやりを持ち、互いを認め合うことです。そのためには、市民自らが個々を尊重し、町内会などの地域コミュニティを考え、能動的な行動がとれる市民力を持ち合わせた市民が必要となるのです。また、将来そのような市民を育てるためには、人としての価値や意味、郷土を愛する心を育むことも必要です。それは、国の教育振興基本計画や仙台市の基本計画にもあるように、子どもの家庭や教育現場での道徳的環境による心身の教育を進めることです。また、行政と市民はもとより地域間が連携をもって、仙台というまちを構築していく必要があります。私たちは、協働を前面に掲げる仙台市と連携し、青年会議所だからこぞできる運動を展開していくことが必要です。そして、そのような機会を提供し、連携と協働を推し進め、感謝と思いやりに溢れたより良い人間関係と社会を構築していきます。そこから波及する市民意識の高まりこそが、私たちの運動であり、めざすべき仙台の姿だと考えます。

市民が感謝と思いやりの心を持ち、互いに心寄せ合い、安心して生活ができる社会を構築していくことで、私たちは「しあわせを共感できる仙台」を実現します。

※市民力とは、市民一人ひとりが積極的に人とつながりを持ち、能動的に地域課題の解決に取り組む力

恒久的な

明るい豊

LOM
の
目的

- 1 地域
- 2 会員
- 3 国際
世界

個人

しあ
共感
仙台

社

総務委員会

総務委員会では、主な活動として仙台ＪＣで行なわれる総会、理事会など諸会議の設営とそれらに伴う議事録を作成し、名刺や会員名簿などの資料作成をしています。また、本年で４０歳を迎え卒業する卒業生に敬意と感謝を伝えるために行なう１２月の卒業例会を担当しています。表舞台にたつて事業を展開して行く委員会ではありませんが、仙台ＪＣを支えている責任感と誇りを持ち、メンバー同士が結束して明るく楽しく活動いたしました。



しあわせなまち創造委員会

しあわせなまち創造委員会は、まちを更に魅力溢れる地域にしていくために、行政・市民・企業と協働しながら、地域資源を活かしたまちづくりを考え、実施してまいりました。

事業『ゆめ☆プロジェクト２０１４～CONNECT地域のたから～』は、『地域のたから』を市民の皆さまより写真・絵・川柳で募集し、様々な手法で発信することで、地域の活性化に繋げるものです。公開例会『ゆめ☆プロジェクト２０１４～CONNECT地域のたから～』では、第一部としてアニメーション監督山本寛さんより『地域のたから』を活かした地域活性化についてご講演を頂き、第二部では事業における入賞作品出品者への表彰式を執り行いました。



会員開発委員会



会員開発委員会では、しあわせな未来の仙台を実現するために、共に活動を行なう新しいメンバーの拡大を行ないました。そして、新入会員の育成として、仮会員セミナーⅠ、Ⅱを通じ仮会員にＪＣ活動の意義や実践するための考え方について学んでいただき、７月には無事に２６名の新入会員が正会員として承認されました。新入会員が主体となり、メンバーの家族や大切な方へ１年間の活動報告を行なうために、「仙台ＪＣ２０１４年度事業報告会 ～「しあわせな未来の仙台」へ出港！～」を開催しました。

未来ビジョン会議

本年度未来ビジョン会議では、新年式典・新春名刺交換会（1月）、3.11キャンドルナイト～しあわせな黄色いハンカチプロジェクト～（3月～）、4月例会「正会員セミナー0（ゼロ）」、そして1年間を通してLOM中期ビジョン策定に取り組みました。3月から展開した「しあわせな黄色いハンカチプロジェクト」は、ASPAC山形大会、世界会議ライブツィヒ大会のJCIアワードにおいて「最優秀長期的地域社会開発プロジェクト」を受賞いたしました。



例会委員会



例会委員会では第3回（創立例会）、第5回、第7回、第10回例会（3月、5月、7月前半、9月）の企画・実施を行いました。創立例会では正会員と特別会員が一堂に会し、絆を深められる機会となりました。第5回、第7回、第10回例会では本年度理事長所信に基づき、メンバー一人ひとりが「智・仁・勇」の理念を心に刻み、困難に立ち向かいながらも正しい道を示すことができる真のリーダーとしての自覚と気概を学びました。

法令会計審査会議

法令会計審査会議では、公益社団法人格の維持と更新のため、宮城県に対して必要書類の提出をして参りました。そして、毎月開催される法令会計チェックでは、各会議体、委員会の予算作成と決算処理が適正に行われたかの確認と事業開催に関するコンプライアンスチェックを実施しました。また、JCI ASPAC山形大会において、仙台JCの事業を申請し、最優秀LOM長期的地域社会開発プログラムを受賞しました。



子どもの共育実践委員会

■子どもの共育実践委員会の一年間を振り返って

子どもの共育実践委員会では、共育事業「地域ふれあいフェスティバル～教育っていいね！～」と公開例会「共育でつながろう！地域・家庭・学校～子どもたちの未来をシェアせに～」を開催、地域の未来を担う子どもたちを正しく育成するためには「地域が幅広くつながること」や「地域ぐるみで大人と子どもたちと共に学び育つこと」が大切であることを事業と公開例会を通して地域に広く発信しました。一年間ご尽力を頂いた全ての方々に心から感謝申し上げます。



事務局

事務局は、裸参りの設えや青葉まつりの警備担当、L O M運営の下支えとして一年間活動をしてまいりました。担当する事業はございませんが、常に会議等にも関わらせて頂き、事業や例会にも参画する中で、事務局メンバー同貴重な勉強をさせて頂きました。また、京都會議やA S P A C山形大会、全国大会松山大会には事務局メンバー一人も欠けることなく参加させて頂き、アテンド業務をはじめ多くの気付きを得ることが出来ました。皆様にご指導を頂きながらメンバーで協力し合い、一人ひとりが大きく成長することができました。



七夕花火祭特別委員会

“打ち上げ場所変更に伴い…”というフレーズがお馴染みにもなり、過去最大の予算規模となった本年の花火祭事業一。各報道機関にも広く報道して頂いたこともあり、J C関係者のみならず、市民の皆様からの寄付金も例年以上に集まりました。広告協賛や個人協賛なども過去にないくらい、多額のご協力を賜りました。次年度の配属（予定）も固まっただけ、次年度以降へ事務的、実務的な引き継ぎを丁寧に進めていくことも踏まえ、より良い形で本年を締めくくりたいと思います。一年間ご協力を頂いた全ての方々に心から感謝申し上げます。



渉外委員会

各種大会へ「目的意識を持った積極的な参加」を実現するために情報を発信し、更に参加しやすい仕組みを採用しました。第6回例会では、A S P A C大会中に現地で開催し、O Bの方を講師に招き、姉妹J Cや特別会員の参加のもと、国際色豊かな例会となりました。対内メルマガは、例会や事業及び大会等のタイムリーな情報と、J Cの本質を後輩へ引き継ぐ先輩方のコラムを編集し発行しました。想いやりのある委員会運営を心掛けました。

第2回通常総会

9月18日(木) エル・パーク仙台にて第2回通常総会が開催されました。審議事項として、2015年度理事長をはじめとする理事予定者の承認と本年度策定した「LOM中長期ビジョン」が審議、可決いたしました。

また、報告事項として2014年度上期の収支と補正予算、事業中間報告が報告されました。

その後、次年度理事長予定者として承認された金ヶ崎政伸君から2015年度へ向けて決意表明が述べられました。

第63回全国大会〈松山大会〉

10月9日(木)～12日(日)の4日間、日本全国の青年会議所メンバー1万3,000人以上の参加により、『取り戻せ、日本の矜持を!～「ことばのちから」が「たくましい国」日本へと導く～』をテーマに、松山を舞台として開催されました。メインフォーラムには石原慎太郎氏をお招きして盛会に開催されました。台風を気にしながらの大会式典や卒業式とはなりましたが、古川顧問の卒業生代表スピーチが周囲の感動を誘ってありました。

第10回例会

第10回例会(9月例会)では、「勇気をもってポジティブチェンジ!～現状より一歩前へ～」と題し、有限会社 香取感動マネジメント代表 香取貴信氏にご講演頂きました。講演後、例会委員会が本年度担当した例会の集大成として、メンバーに伝えたかったことを『JCBギ』と題した演劇にて、委員会メンバーが真のリーダーに成長していく過程を表現いたしました。当日は総会もあり多くのメンバーが集まり、非常に良い例会となりました。



第11回公開例会 ゆめ☆まちプロジェクト2014 ～CONNECT 地域のたから～

10月19日(日) 仙台国際センターにて、当委員会が担当する公開例会『ゆめ☆まちプロジェクト2014～CONNECT 地域のたから～』が開催されました。

公開例会は二部構成になっており、第一部はアニメ監督の山本寛氏を講師としてお招きし、『Wake Up, People! ～「地域のたから」の共有と発展～』というテーマのもとで『地域のたから』となりえる地域資源を活かしたまちづくりや地域の活性化について、後藤委員長との対談形式で講演をいただきました。

第二部は当委員会が六月から取り組んできた事業『ゆめ☆まちプロジェクト2014～CONNECT 地域のたから～』の入賞者に対するの授賞式を執り行いました。

本例会においては約200名の市民の皆さまに足をお運びいただき、まちを愛する心を育むとともに、今後のまちづくりへ向けての行動を促す機会になりました。



第12回公開例会

「共育でつながろう! 地域・家庭・学校
～子どもたちの未来をシェアせに～」

11月3日(祝) アークホテル仙台において第12回公開例会を2部構成にて開催致しました。第1部では宮城教育大学特任教授の庄子修氏による基調講演「地域・家庭・学校が共に歩むと子どもは育つ。地域ぐるみで共育を実践」を行ないました。また第2部では「共育が未来を変える。未来には生きる子どもたちへシェアせを」をテーマにパネルディスカッションを行ない、地域共育を実践することの理解を深める機会となりました。



第13回例会

12月1日(月) 江陽グランドホテルにて第13回例会が開催いたしました。「LOM内褒賞授与式」「本年度理事長交代式」「卒業証書授与式」の3部構成にて行ない、1年間顕著な活動をしたメンバーを称えるとともに、納庄理事長から金ヶ崎次年度理事長予定者に伝統のプレジデンスチャリースが引き継がれました。

そして、本年度卒業を迎える30名のメンバーのこれまでの功績を称え、感謝を伝える卒業式を盛大に執り行ないました。



「生命(いのち)の物語」応援会社

清月記

|相|談|無|料|  **0800-888-5777**

<http://www.seigetsuki.co.jp>

清月記

検索 

oniwaraijirushi.com ←「たれde松本」の詳しい情報・ご注文はwebで



QRコードからの
アクセスはこちら



たれde松本

松本家代々伝承
秘伝焼肉のたれ



旨味とコク

田子産大蒜の

青森県

旨いたれ

鬼も舌を巻く

oniwaraijirushi.com ←「たれde松本」の詳しい情報・ご注文はwebで



自然環境を再生し、豊かな地球を創造する

伐採・木材リサイクル・森林管理・中間処理業

ナイスクリーン株式会社

TEL. 022-393-2205 FAX. 022-393-2207

Mail. info@nice-clean.co.jp

国分町の入り口・全席個室「仙台うまいもん」居酒屋。

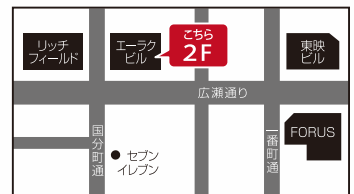
2名様から最大60名様までの個室を完備。

仙台の冬の風物詩でもある「光のページェント」の帰りのお食事や宴会にいかがでしょうか。「食材の宝庫」宮城で営む一員だから、素材にこだわり「鮮」「煮」「焼」「揚」を追求しています。国分町入口、大きな電飾が目印です。



メニュー(一例)

生ビール ¥580
黒烏龍茶 ¥400
亜門ピッツァ ¥850
大きい海老のマヨネーズソース ¥780
仙台名物厚切り牛舌 塩焼き ¥1,380



仙台うまいもん個室居酒屋【亜門】

仙台市青葉区国分町2-1-3エーラクフレンドピアビル2F
TEL022-222-3008 FAX022-222-3001
営業時間17:00~24:00(金・土・祝前 翌1:00)(日・祝23:00)

編集後記

12月に入り寒さも日を追うことに厳しくなり、気がつけば今年も終わりに近づいております。今年1年間、公益社団法人仙台青年会議所2014年度広報誌「のぞみ」をご覧いただきましてありがとうございます。

本年、広報誌「のぞみ」の発刊も最後となりました。401号は仙台青年会議所の委員会の活動報告を、掲載させて頂きました。本年度、仙台青年会議所はImage Of Happiness SENDAI's 青年として、惑わず、憂えず、恐れずのスローガンのもと運動を展開してまいりました。仙台青年会議所では様々な活動や運動を各委員会が計画し、地域社会のためや青少年育成事業等を行なっております。少しでも多くの市民の皆様に関心していただければ幸いです。

仙台青年会議所メンバーの内40歳を迎えた方々は12月31日をもって、卒業いたしました。本年は30名のメンバーが青年会議所運動に対する熱い思いや地域社会へ対しての使命を残された現役メンバーに託し、新たな想いを胸に旅立って行きます。卒業生の皆様、本当におめでとうございます。そして、ありがとうございます。

2014年度、広報委員会では、広報誌「のぞみ」や公式ウェブサイトを通じて、新たな仙台青年会議所の運動を発信して参りましたが2015年度の新体制も決まり、次年度に向けた活動が早くも始動しております。今後も様々な工夫を重ねながら仙台JCの運動を発信していきますので、引き続きご覧いただきます様よろしくお願いたします。

最後になりますが、広報誌「のぞみ」を発行するにあたりご協力、ご支援をいただきました皆様には心から感謝申し上げます。

のぞみ Vol.401

公益社団法人仙台青年会議所 2014年度 広報誌

発行情報 / 2014年12月発行

発行責任者 / 佐々木 正寿

発行 / 公益社団法人仙台青年会議所広報委員会

仙台市青葉区本町2丁目16-12 仙台商工会議所ビル8階

広報委員会

担当専務理事	亀井 義広	委員	大山 宏	菊池 隼人
担当室長	鈴木 靖弘	・大寒 江庸介	・藤 利勝	・一 亮
担当委員長	佐々木 正寿	・佐藤 利勝	・高橋 平吉	・亮 寿樹
副委員長	青木 樹	・竹田 将一	・野田 平吉	・樹 樹明
幹事	青木 樹	・安田 将一	・渡部 哲也	・明 樹明
	丸山 智賢	・渡部 哲也		



杜の名所。

なごころ

豊かな杜と都市の未来が調和する
仙台駅東口、榴岡公園。

桜の名所である榴岡公園を眺め
発展する都市の新しい息吹を抱く暮らし、
古と未来、くつろぎと華やかさを享受する。
まさに杜の都の今を愉しむ
理想の住まいをここに。



日々の安心を支える

東北初

電力料金を5%節約する

「免震構造」を採用



「電力一括受電システム」を採用

榴岡公園の借景と暮らす、免震構造レジデンス。

「クリアホームズ榴ヶ岡公園」

JR仙石線
「榴ヶ岡」駅へ徒歩4分^(300m)
榴岡公園へ徒歩2分^(120m)

3LDK **2,910**万円^(予定) ~ 4LDK **3,990**万円^(予定)

先着順申込受付中!! [モデルルーム公開中]

※週末は混雑が予想され、時間帯によりご対応できない場合がございますので、ご予約の上、ご来場いただくことをお勧めいたします。

(外観完成予想図) ※外観完成予想図は、図面を基に描き起こしたものに、建設地東側の榴岡公園を撮影(2013年4月撮影)した写真を合成したもので、実際とは異なります。※距離表示については地図上の概測距離を、徒歩分数表示については80mを1分として算出(端数切り上げ)したものです。※表示内容は、2014年5月の調査時点のものです。※掲載の写真は、榴岡公園(徒歩2分・120m)内を撮影したものです。※距離は地図による概測。所要時間は徒歩80m/分で算出しています。※掲載の環境写真は2013年4月~2014年3月に撮影したものです。※掲載の情報は、2014年4月現在のものです。※掲載の地図は略図のため省略されている場合があります。※開業予定時期等については諸事情により変更になる場合があります。

■「クリアホームズ榴ヶ岡公園」物件概要 ●所在地/宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡 仙塩広域都市計画事業仙台駅東第二土地区画整理事業施行地区内14-4街区2・3画地(仮換地) ●交通/ (1)JR仙石線「榴ヶ岡」駅より徒歩4分 (2)JR仙石線「仙台」駅(地下ホーム改札側2出入口)より徒歩13分 ●用途地域/商業地域 ●地域・地区/準防火地域・仙台駅東第二地区計画(榴岡地区) ●地目/宅地 ●建ぺい率/80% ●容積率/400% ●敷地面積/1,006.24㎡ ●建築確認対象敷地面積/1,006.24㎡ ●建築面積/488.46㎡ ●建築延床面積/4,601.44㎡ ●構造/規模/鉄筋コンクリート造地上14階建て ●総戸数/52戸(他に管理事務室1戸) ●販売戸数/13戸 ●間取り/3LDK・4LDK ●専有面積/67.79㎡~86.61㎡(トランクルーム面積/0.59㎡含む) ●バルコニー面積/11.64㎡~32.19㎡ ●ポーチ面積/6.58㎡ ●アルコーブ面積/3.51㎡~3.60㎡ ●販売価格/2,910万円~4,710万円 ●最多価格帯/3,900万円台(2戸) ●駐車場/敷地内31台(来客用1台含む)(屋内平置駐車場6台、屋外平置駐車場6台、屋内機械式駐車場7台、屋外機械式駐車場12台(月額使用料:10,500円~18,000円)) ●ミニバイク置場/4台(月額使用料:2,000円) ●駐輪場/64台(月額使用料:200円) ●建築確認番号/第BVJ-D13-10-0855号(平成26年1月31日付) ●建物完成予定/平成27年8月上旬予定 ●入居予定/平成27年9月下旬予定 ●入居予定時期等につきましては、東日本大震災に起因する事象等により変更となる場合があります。 ●分譲後の権利形態/敷地:専有面積割合による所有権の共有、建物:「専有部分」区分所有権、「共用部分」専有面積割合による所有権の共有 ●管理形態/区分所有者で管理組合を結成し、管理会社に業務委託 ●管理会社/セントラルライフ株式会社 ●設計・監理/株式会社半田建築研究所 ●施工/大和小田急建設株式会社 ●売主/セントラル総合開発株式会社 ●申込受付場所/「クリアホームズ榴ヶ岡公園」マンションギャラリー/営業時間:午前10時~午後6時(水曜日定休) ※申込の際は、印鑑(認印)、申込証拠金10万円、本人確認資料(運転免許証・健康保険証等)、平成25年分の収入証明書(源泉徴収票・確定申告書等)をご持参下さい。 ※先着順申込受付につき、成約済みの際はご容赦ください。 ※表示の価格には建物に係る消費税相当額が含まれております。表示の専有面積は建築基準法上の壁芯面積ですので、不動産登記法上の内法計算による登記面積はこれより少なくなります。



資料請求は、フリーダイヤルまたはホームページから承ります。

0120-808-887 クレアホームズ榴ヶ岡公園 検索 <http://tsutsujigaoka.clare.jp/>

セントラル総合開発 大和小田急建設株式会社